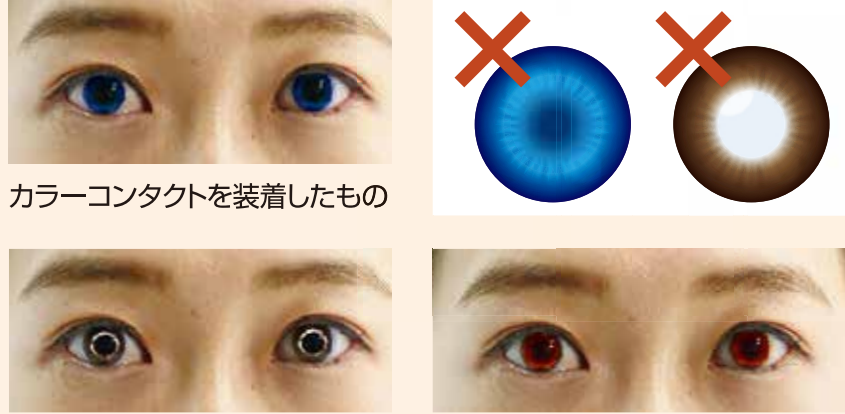


不適当な写真例

※使用するカメラアプリによっては左右反転する場合がありますが、不適当です。

目

カラーコンタクトや瞳のフチを広げるコンタクトを装着したものやフラッシュなどの影響により瞳が赤く写ったものは不適当です。上記コンタクトを装着の場合、出入国の際、不利益を被る可能性があります。



カラーコンタクトを装着したもの

意図的にフラッシュやライトの形状が写り込んだもの

フラッシュなどにより瞳が赤く写ったもの

眼鏡

より確実な本人確認のため、眼鏡を外した顔写真を推奨します。眼鏡を着用するとき、色付きのレンズや反射・影があるものは不適当です。また、目を妨げる縁・フレームがないものに限りです。医療上必要とされない限り、サングラスや処方のない色付きの眼鏡は不適当です。



色付きの眼鏡やサングラス

照明が眼鏡に反射したもの

眼鏡のフレームが目にかかっているもの

影

顔や背景に影が写らないようにしてください。



顔の影

背景の影

つけまつげ、まつげエクステの影

撮影品質

撮影時にピントが合っていなかったり、手ぶれしてしまったため不鮮明なものや、顔にてかりやムラがあるものは不適当です。

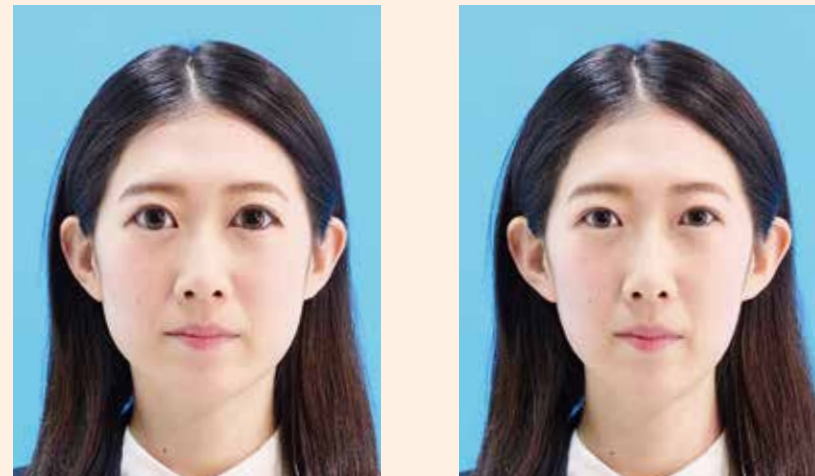


ピンぼけや手ぶれにより不鮮明なもの

てかりやムラがあるもの

画像加工・画像処理

目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわなどを修正するなどして、本人のイメージを変えることは、いかなる場合でも不適当です。また、左右反転※した写真は不適当です。



目を大きくしたり、顔のパーツが変形したもの

変形やマスキングなどの画像処理をほどこしたもの

画像・印刷品質

デジタル画像の過剰な圧縮などが原因となってノイズ(画像の乱れ)が発生しているものや、ジャギー(階段状のギザギザ模様)、印刷時のドット(網状の点)やインクのにじみがあるものは不適当です。写真専用の用紙を使用し、鮮明な画質で印刷してください。



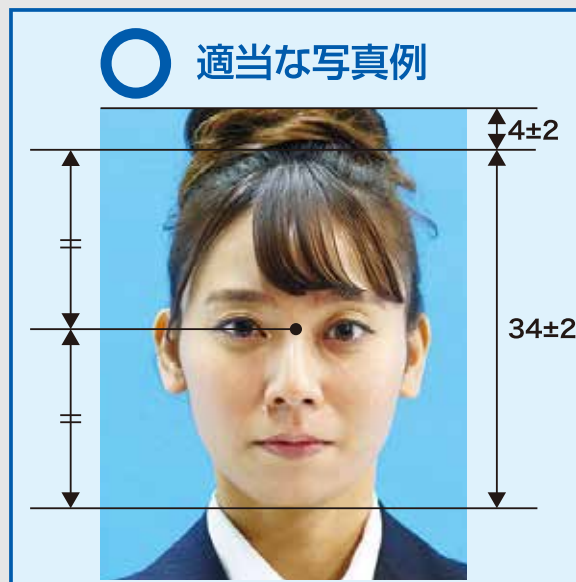
ノイズ(画像の乱れ)があるもの

ジャギー(階段状のギザギザ模様)があるもの

ドット(網状の点)やインクのにじみがあるもの

髪のボリュームが大きい場合

目から顎までの幅と同程度の幅を目から上方髪の方にとり、その部分を頭頂とみなせるよう(右図参照)、サイズを調整ください。



○ 適当な写真例

✗ 不適当な写真例



乳幼児の撮影について

補助者の身体の一部が写り込んでいる場合や目を閉じている場合は、不適当です。顔の向きや動きによる手ぶれにも注意してください。

座れない場合は、無地で淡い色のシーツなどに寝かせて真上から撮影した写真でも問題ありません。

○ 適当な写真例



✗ 不適当な写真例

